



大蔵村

<里山再生アクションプラン>

～むら美しく・いきいき・きらりおくら里山再生プロジェクト～

<令和6年度 事業目的>

里山での事業・間伐材を使用した事業を通じ、地域の森林・自然環境について学び、森林への理解、里山の保全、間伐材の活用へ繋げる。



森林体験学習事業

これまで植樹してきた桜について、森林組合から指導・育成管理の研修を受け、施肥等を行った。肘折地区では、地区の秋の風物詩であるなめこ汁のため、なめこの植菌を行い、貴重な森林の恵みを育んだ。

菌茸栽培体験事業

大蔵小学校4年生児童を対象に、「なめこ」の栽培体験を実施した。地元森林活用協議会の指導により春には植菌と、秋には収穫を体験し、里山散策を通し森林に親しんだ。



木育推進事業

村内保育所の園児対象に木育推進事業を行っている。打ち合わせを行い、お店屋さんごっこができる、カウンターを作成した。また、村の木であるブナに親しんでもらいたく、ブナのしずくストラップ作成体験を行った。さまざまな年齢層の方から、体験していただきブナのぬくもりを感じていただいた。

<活動成果・感想及び今後の展開>

例年実施している事業に加え、産業市でのストラップ作成など新しい事業も実施できた。継続してきた事業に加え、新たな事業を実施できたことで、村内の児童や地区住民の様々な年齢層の方に森林づくりに対する意識が強まっていることを実感している。少子高齢化により参加者募集に苦慮しているが、今後も住民ニーズを積極的に取り入れながら、本事業の趣旨に沿った新しい事業を模索するなど、事業の展開に努めていきたい。